

釜ヶ崎解放

85

2月1日

日雇全協★釜ヶ崎支部
釜ヶ崎日雇労組★多設団
西成区萩之茶屋2-5-23 さんわ 632-422

春斗！寄せ場再纏を打ち砕き 階級的労働運動の拠点へ



仲間たち、

昨日夜の西成市民館での、オジ回^{おじまわ}越冬斗争^{ことうとうりゅう}
報告集会には、50名の仲間が集められた。今回の

暴力飯場^{ぼうりょくはんじょう}、暴力手配師^{ぼうりょくしゅばいし}一掃^{いつぱう}する戦いをくじでいひはけめはま
らう。

その意には、我々、釜ヶ崎支部・多設団だけではなく、

多くの仲間の团结と結束が不可欠である。今日の
(労働委設班、パトロール班、医療班等々)

市民館での討論集会にせひとも多くの仲間が集まり
多々の仲間の团结と結束が不可欠である。今日の
市民館での討論集会にせひとも多くの仲間が集まり
多々の仲間の团结と結束が不可欠である。今日の

ひうの越冬の提起が行なわれ、今回の医療セ

ミターセンターとニケン^{ニケン}回^か交^{こう}渉^{じゆ}とする斗争に勝利^{しゆり}させ

F^{エフ}二^二を仲間につた^た。

この越冬での团结と結束が、これからの、

斗争として寄せ場^{寄せじょう}での住みやすさの条件をなくして
斗争として寄せ場^{寄せじょう}での住みやすさの条件をなくして

春斗争^{かうとう}にむけ、仲間たちと考えなやみ、と
する二^二はできない。

モード^{モード}で^で、仲間たち^た。

現在、センターにおりては、仕事もへり中で、

斗争として寄せ場^{寄せじょう}での住みやすさの条件をなくして
斗争として寄せ場^{寄せじょう}での住みやすさの条件をなくして

業者による顔付^{おもて}け^け及^{およ}横行^{よこぎやう}し、交通費^{こうつうひ}支^しねわな
小業者^{こぎょうしゃ}、請式^{せいしき}などをつり上げるボッタクリ業

者^{わざわざ}横行^{よこぎやう}して^{して}いる。

このような、ケタオチ人夫

出しおやり方に對し、怒り

つけめはならない。

算^{さん}の春斗争^{かうとう}も、この二
もつて、共^{とも}に斗^{たたか}ってい^こう。

本日、夜ワジ西成市民館にて
春期斗争討諭集会^{しゆうき とうそう しゆう}催用^{さいよう}

新しい世を生きたいが団結を強め生を

山谷の路上で流された

佐藤さんの血を我らの体内に

二月二日 三角公園集会 東京人民葬へ

山谷の地にありて、右翼・暴力団のテロによつて無念にも殺された佐藤さんの人民葬が、二月三日、山谷において営まれる。

釜ヶ崎の地からも、佐藤さんの意志をひきつぎ、我々の体内によみがえらせるための人民葬へ、多くの仲間が参加することを呼びかける。

釜ヶ崎日雇労働組合・争議団は、山谷の地の暴力支配をもくろむ、右翼・暴力団西戸組による山谷争議団襲撃事件以後、反撃を開始した山谷の仲間たちと合流し、ともに闘つてきた。そして、今後も、勝利の日まで、闘い続けろ。

闘りの過程で、我々の闘りを記録し、

広く訴えるための映画を飾ろうと決意した佐藤さんが、倒されてしまつた。

闘りこそが團結を強め、新しい世を生みだす。佐藤さんは、闘いの中まで

で、よみがえる。
仲間達、山谷へ、人民葬へ、闘りへ。
二月二日、夜、山谷の人民葬に失った、釜ヶ崎において、追悼集会をもち、夜九時、勝利号ともう一台、二台のバスで山谷へかけて出発したいと考えている。

二月三日、昼は、山谷現地での人民葬、夜は千二百名収容できる会場を使っての大集会。

再度、参加を呼びかける。

2.1 春闘準備討論集会・市民館

と一〇人が、時たま見うけられる。飯場の場合は、特に様々な条件によつて最低賃金の確立がさまたげられている。

まず、多くの仲間からの現状の報告を受けたあと、今年はどのような要求で、どのような闘い方をするのか、みんなで意見を出し合つて、確立していくことになつてゐるが、違反してはいるが、違反してはいるが、